

な か て は ら

第62号

発行
仲手原自治会

8月27日(土) 28日(日)の

両日、3年ぶりとなる「なかては

ら夏祭り」が盛大に開催されまし

た。27日は18時半から二丁目公園

にて盆踊り大会を中心に、マザー

クラブによるスーパーボールすく

いや輪投げ、第2ど

んぐり学童クラブに

よるゲーム

やくじ引き、

自治会青年

部によるラ

ムネ販売な

どの夜店も

登場し、小

さなお子様

から大人の

方まで大変

な賑わいと

なりました。新型コロナウィルス

の影響で2年間にわたり開催を見

合わせていた夏祭りですが、本年

は入口での検温と消毒、公園内へ

の人数制限を設けるなど、参加者

の方々にもご協力とご理解をいた



盆踊り

だきながら無事故で
開催すること
ができました。

久しぶりの夏祭りに

は例年の2倍ほどの

約1500人の方々

が参加し、仲手原の

夏の風物詩を心待ち

にしていた様子がう

かがえました。夏の

夜を彩る色とりどりの

提灯や夜店の明かり

のもと、子どもたち

の賑やかな声と笑顔

があふれる思い出

のひとつときとなり

ました。

→ 方28日は

朝10時から仲手原

一丁目を中心とした

コースで山車引きを

行いました。これには当初の想定

を超える100名以上の申し込みがあ

り、途中でメンバーの入れ替えを

行うなど工夫をして実施されまし

夏祭り



8.27~28

山車巡行

た。開始直前、自治会館前で整列しながら準備をしている時には小雨が降り始め、視界や足下がやや悪くなる中でしたが、役員のマイクに皆がしっかりと耳を傾け、予

定通りに出発することができました。小学生を中心とした山車引きメンバーは、山車につながるロープをしっかりと握りしめ、暗雲を

吹き払う勢いで太鼓と笛のリズムに合わせてかけ声を掛け合いながら一歩一歩進んでいきました。また、開始前の抽選で選ばれた小学生の代表が4回に分けて交代しながら山車の上で太鼓のバチを握り、皆を鼓舞する役目をしっかりと果たしました。途中、雨脚が強くなる時もありましたが、参加した小学生たちは誰一人途中で投げ出すことなく、一生懸命終着地点まで山車を運ぶことができました。参加者からは「雨に濡れたけど頑張ることができた」「始めて山車に乗ることができて嬉しかった」と一様に達成感に溢れた喜びの感想が寄せられました。

2日間に渡り大盛況で終えた

「なかてはら夏祭り」。主催側は「来年以降も感染症対策を万全にスペースを拡大するなど、参加される方がより快適に楽しんでいただけるよう工夫しながら開催していきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。両日運営をしてくださった自治会青年部、こども会の皆様、そして陰で安全をまもってくださいました皆様本当にありがとうございました。

(加藤篤志)

新企画 仲手原 ふれあい ウォークラリー

5.14
実施報告

本年5月14日(土)、「仲手原ふれあいウォークラリー」が開催されました。



例年、屋台やバザー、おもちゃやミニ動物園、ポニー乗馬、ミニコンサートといった内容の「仲手原ふれあい祭り」を開催してきましたが、新型コロナ感染症拡大の影響により、20年以降は、同祭りの開催は見送りとなっていました。しかし、今年はコロナに負けず「感染リスクの低い屋外で、密

になりにくい行事を新たに企画しよう」と、地域交流の活性化を取り戻すことを目的に「仲手原ふれあい祭り(春季)」として「仲手原ふれあいウォークラリー」を開催することになりました。



スタート受付

この新しいイベントの企画・運営は、今年度より自治会内活動組織として発足した「青年部」が主体となり、「たけのこ・あかつき・



ウォークラリーマップ

「ことぶき会」「マザークラブ」「港北消防団」の協力のもと進められました。開催日前日より続いてきた雨も、スタート時にはあがり、事前申し込



二丁目コースチェックポイント

はなぶさ子供会」

みしていた43組、総勢138名が参加。参加者は、仲手原一丁目、もしくは二丁目のどちらか一方のコースを散策しながら、各コース内の初期消火器具を設置している5か所のチェックポイントでスタンプを押し「謎解き」を楽しみました。そしてゴール地点では参加賞品を



一丁目コースチェックポイント

配布。子ども達は謎を解いた証として「お宝(お菓子)」を受け取り、地域の地理や防災対策を学びながら楽しむことができました。



お宝(お菓子)受取所

ゴール後は「ヨーヨー釣り」や「手作り風車プレゼント」を用意。子どもたちがシニアの方々と共に楽しみ、世代間交流をはかることもできました。

新型コロナウイルスの影響が続く中でも開催が可能な新企画が生まれたことは喜ばしいことです。仲手原自治会は今後も感染リスクに配慮した行事を企画・開催しながら地域交流の活性化を目指します。(仲手原ふれあい祭り実行委員会)

着任校長・園長先生紹介

横浜市立港北小学校

校長 山口 昭代



「さくらみち」に咲き誇る満開の桜に迎えられ、港北小

学校に着任いたしました。七十数年となる伝統校、児童数も職員数も多く、全31学級の活気あふれる学校との、嬉しい出会いでした。

子ども達の素直で人懐っこい笑顔と元気いっぱいのおいさつの声。その子ども達一人ひとりを、大切に丁寧に育む教職員。学校の教育活動を理解し協力を示してください。保護者の皆様。そして多岐に渡る学校課題を共有し、ともに解決を支えてくださる地域・関係の皆様方。多くの人々が手を携えて、港北小の子ども達をあたたく囲み、健やかで豊かな成長を支援してください。校長として感謝と勇気の思いをいたしたいです。よさを継承し、新たな未来を切り開いて参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

横浜市港北保育園

園長 川崎 淳子



令和 4 年 4 月に、横浜市港北保育園に着任いたしました。

港北区は、初めての地ですが、地域の方々とのつながりが多い地など嬉しく感じております。現在はコロナ禍で、地域の皆様との直接の触れ合いが少なくなっていますが、できる形で少しずつ機会を増やしていけたらと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

子どもたちは、遊びの中で生きていく力を養っています。日々新しい発見に目を輝かせながら思い切り遊ぶことができるのも、地域の方々があたたかく見守ってくださるからこそです。改めて感謝申し上げます。 “すべての子どもが、自分を「かけがえのない存在」と信じ、自信をもって生きていけるように”との保育理念を基に、これからも地域に根差した保育園でありたいと思ひます。

「青年部」発足しました!

代表 安本尚豊

令和 4 年度より、仲手原自治会

の新組織として青年部が本格的に活動開始することとなりました。青年部は青少年指導員・スポーツ推進委員の皆さんや、その他若手の有志メンバーと共に、2年以上前から組織を立ち上げ、活動に向けて準備をしてまいりました。メンバーを募り、いくつかの交流イベントも計画して、いざ活動開始と思つた矢先にコロナ禍に突入。

・自治会のイベントの中止もあり、活動を見送らなければならぬ状況となつてしまいました。しかしながら、今年「ふれあいまつり」の代わりとして「仲手原ふれあいウォークラリー」を開催したいので、青年部で、その計画から運営までを中心となつて進めてほしいと、自治会から相談がありました。青年部のメンバーで何度か準備委員会を開催し検討を重ねてきました。結果、自治会役員をはじめ自治会班長や各委員の皆様のご協力のもと多くの方々に喜んでいただけるイベントを無事開

催することが出来ました。とても嬉しく思っております。

青年部は只今、活動を一緒にしていただけるメンバーを

「絶賛募集中!」です。

青年部は、自治会行事の企画・運営のサポート(将来的には青年部主催のイベント開催)を通じて、自身も楽しみながら地域活性化につながる活動と貢献をしていきたいと考えています。日頃から「地域交流を活性化させたい」「地域のイベント活動に参加してみたい」などの思いがある方、ぜひ一緒に活動しませんか? 「できるひとが」できるときにできることをする」をキーワードに活動しておりますので、全ての活動に参加できない方でも大歓迎です。興味のある方は、自治会行事などを通じて、青年部メンバーに気軽にお声がけください。青年部一同お待ちしております!



「青年部」メンバー 2022.8.28

仲手原スポーツだより

◇港北区ゲートボール大会

5月12日鶴見川樽町公園にて港北区ゲートボール連合主催のゲートボール大会が開催され、仲手原チームが初めて3位入賞。



ゲートボール仲手原チーム



◇自治会対抗グラウンドゴルフ大会

5月22日篠原中学校グラウンドにて篠原地区自治会対抗グラウンドゴルフ大会が開催。仲手原自治会チームは準優勝。令和5年3月に開催予定の第36回港北区グラウンドゴルフ大会に出場予定。

◇区老連グラウンドゴルフ予選会

5月25日仲手原二丁目公園にて港北区区老連主催のグラウンドゴルフ篠原地区予選会が開催。仲手原チームが3位入賞。

いじりまきだより

◇七夕飾り

仲手原ことぶき会(老人会)では、7月1日恒例の七夕飾りが自治会館にて作られ飾られました。今年初めて港北保育園の子ども達も自分で作り書いた短冊を持って来てくれました。毎年ことぶき会の有志が保育園を訪問し、子ども達と交流をしていましたが今年はコロナ禍で訪問できなかった為、子ども達の方がきてくれたとのことでした。

◇尺八と箏の演奏会

8月12日 定例のことぶき会に於て、尺八と箏の演奏会がありました。尺八は穂積政美先生が、箏は三上園東巳(文子)先生が奏でられました。三上先生は高田東にお住まいで、井上会長とは長い交際があった縁で今回の演奏会が開かれました。「大きな古時計」「シャボン玉」「ふる里」等が演奏されました。会場は大きな拍手に包まれました。



尺八と箏の演奏会



令和4年度 仲手原自治会定期総会

表決結果

令和4年度自治会定期総会の各議案は「書面表決書」により表決することになりました。5月31日締切で投函専用箱を確認した結果は左記の通りとなり、すべての議案は過半数もって可決されました。

第1号議案 賛成:242 反対:0
令和3年度事業報告の件
第2号議案 賛成:242 反対:0
令和3年度歳入歳出決算報告及び監査結果報告の件
第3号議案 賛成:242 反対:0
令和4年度役員改選(案)の件
第4号議案 賛成:242 反対:0
令和4年度事業計画(案)の件
第5号議案 賛成:242 反対:0
令和4年度歳入歳出予算(案)の件

令和4年度役員	会長 齊藤 眞幾男
副会長	村野 明美
会計部長	堀内 由理
業務部長	江村 清
広報部長	押尾 泰典
防災部長	久保 寺 功
防犯部長	小松 眞一
企画部長	築地 美恵子
総務部長	和田 恵美子
厚生部長	阿部 ふさな
庶務部長	岡田 二郎・柚木 勇
会計監査	

令和4年度新任役員紹介

令和3年度会計監査役の亀山弘江氏が退任し、令和4年度から新しく柚木勇氏が会計監査役に就任しました。



亀山 弘江氏

自治会だより

※ 行事予定は変更される可能性があります。その都度「回覧」等でお知らせします。

10月 「なかてはら」第62号発行

健康づくり体操(12・22日)

防災キャババン(15日)

健民祭(30日)

11月 健康づくり体操(2・12日)

福祉バザー+α(12日)

仲手原防災訓練(20日)

(安否確認訓練他)

仲手原寄席(未定)

年末たすけあい募金のお願い

12月 防災拠点訓練(10日)

自治会館年末大掃除(17日)

「日の出を見る会」(未定)

編集スタッフ

植木幹造・押尾泰典・加藤篤志・芳賀宏江・宮田純子・山口美和

編集責任者・中村泰雄